

八王子市立由木中央小学校「平成20年度授業改善推進プラン」

【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性
 「仲間とともに」 協調性・社会性
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性
 の育成に向けた教育を推進する。

【教育目標】

すすんで学習しよう
 あったかい心をもとう
 じょうぶな体をつくろう

1 地域の実態

- ・学区が広く児童数が多い。
- ・PTA役員が中心となり、学校に協力的。

2 地域・保護者の期待や願い

- ・学校教育に関心が高く、期待、願いも強い。
- ・確かな学力が身に付くように期待している。

3 期待される児童像

- ・心身共に健康で心豊かな子ども
- ・自ら考え、学び合う子。

《本校の現状》（「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること）

・「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から、「見通す力」に課題が見られた。そのことから、各教科、総合的な学習の時間において、ある事象から自ら課題を見つけ、解決方法を考えていく場面を設定することで、見通す力を育てていく必要があると考える。

・市の「学力定着度調査」の結果から、国語では、「書くこと」「読むこと」の領域が課題である。読書や音読の取り組みによって、文章を読みとる力を育てたり、授業の中で自分の思いや考えを文章で表現する力を高めていくことが必要である。また、算数では全体的に課題がある。モジュールの時間を利用して、補充的な学習をくり返し・継続的に行ったり、通常の授業では、問題解決学習を工夫し、数学的な考えを育てたりすることが必要だと考える。

・調査結果にはないが、子どもによって、あるいは教科、単元によって、「関心・意欲・態度」の差が見られる。学習体験や発達段階をふまえながら、学習に対する意欲的な態度を育てていく必要がある。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》

- ・個に応じた指導や補充的・発展的な学習を展開し、児童一人一人に確かな学力をはぐくむ。
- ・児童が、自分の見方や考え方を豊かに発展できるように支援の方法を工夫し、指導の充実を図る。
- ・TTや地域人材の活用など多様な指導形態を取り入れ、児童が主体的に学習できる指導に努める。

《本年度の学力向上の具体策》(いつまでに、どの程度)

問題解決型学習・体験的学習を工夫し、事実から学ぼうとする自主的・自発的な態度や、学ぶ意欲を育てる。また、具体物を用いて、操作活動などを通して、「楽しい」「やってみるとおもしろい」といった興味を喚起させ、自ら解決していくような授業展開を実践する。

年間を通して、モジュール学習等によりくりかえし学習することによって、基礎的・基本的な内容の定着を図る。また、発展的な学習や補充的な学習など、個に応じた指導のための教材の開発を行い、児童一人ひとりに確かな学力を育てる。

2学期から各学年の研究授業を通して、「学び合い」のテーマで授業づくりを行う。

月行事・週時程を工夫し、余裕ある授業時数を確保して学力向上に努める。
 毎月第一金曜日の6校時は必ず授業とする。洋字を書く楽器に分散させて、授業時数を確保する。

《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

- ・単元ごとのワークテストにより習熟を評価したり、日ごろのノートや発言から子どもの考え方、見通す力など検証していく。また、子ども自身にも自分の伸びやつまづきが分かる評価方法を工夫する。
- ・学校公開、授業参観の時に保護者アンケートなどを活用して外部評価を取り入れていく。
- ・3学期の校内研究で、研究の成果をまとめる機会を設け、学力向上のための重点方針についても検証、評価していく。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

| 教科等 | 現状と課題 | 改善策 | 教科等 | 現状と課題 | 改善策 |
|-----|--|---|-----------|---|---|
| 国語 | ・文字を書く、読む力はついてきている。 ・言葉を使って文章で表現する力や文章を読み取る力をつけていくことが課題である。 | ・言葉や文字の学習を通して、熟語や短文を作り、言語力をつける。 ・音読を重視し、読みを深めるための、手だてを工夫する。 | 音楽 | ・歌やけんぱんハーモニカなど音楽の授業を楽しんでいる児童が多い。 ・経験に差があるため、うまく取り組めないでいる子が課題。 | ・「みんなの歌」などの補助教材を利用し、歌唱などの親しむ時間を確保。 ・けんぱんハーモニカなど安心して発表できる場面を設定していく。 |
| 社会 | | | 図工 | ・課題に興味を示し、意欲的に取り組んでいる。 ・絵や工作で表現することにすでに苦手意識をもっている子どもにどのように取り組ませるかが課題である。 | ・身近でやってみたくなる課題を見つけ、造形活動を楽しめるようにする。 ・制作過程での鑑賞を通して、友達同士の学び合いを大切にする。 |
| 算数 | ・たし算、ひき算など計算力についてきているが、個人差が大きい。 ・文章問題で式を立てる力(数学的思考方)をつけていくことが課題である。 | ・算数に対する興味・関心を高めるための教材・教具を工夫する。 ・個の習熟度に応じてワークシートを工夫していく。 ・問題解決の場面で具体的操作をしながら、自力解決できる力を高める。 | 家庭 | | |
| 理科 | | | 体育 | ・運動は好きだが、集団遊びなど友達と関わりながら遊ぶ経験が少ない子がいる。 | ・人と関わり、協力する体ほぐしの運動やゲーム学習を工夫していく。 ・休み時間の外遊びにつなげられるような手だてをとる。 |
| 生活 | ・植物や虫に興味をもって観察活動に取り組んでいる。 | ・子どもの関心、意欲を高めるため、体験学習を多く取り入れ、自立への基礎を高める。 ・地域教材を開発し、地域や保護者と協力、連携を図り、学習を進める。 | 総合的な学習の時間 | | |

その他(道徳・特別活動等)

- <道徳> ・教育目標「あったかい心をもとう」に向けて「友情」「親切」など「他人との関わり」に重点を置き、資料を工夫する。
・学校・地域の日常的な場面で道徳的な価値を追究、実践できるように指導する。
- <特別活動> ・一人ひとりの児童がより多くの児童とつながりを深めていけるような活動を実践する。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

| 教科等 | 現状と課題 | 改善策 | 教科等 | 現状と課題 | 改善策 |
|-----|---|---|-----------|--|--|
| 国語 | 読み取る力がやや不足している。 自らの考えや思いを文章化する作業を苦手とする児童がいる。 | ・文章を読み取る力をつけさせるため、音読指導や読書指導を重視する。 ・文章を書く場面を増やし、叙述をつかませる場面と自分の想像を広げる場面を工夫し、読む力を深めていく。 | 音楽 | 楽しく歌えているので、さらに正しい音程で歌えるとさらに良い。 鍵盤ハーモニカでは、正しい指遣いとタンギングがしっかり身につくようにする必要がある。 | ・楽しく歌える曲を選ぶと同時に、発声練習をきちんと行う。また、お手本をしっかり聞かせることで、音程を正しくつかませる。 ・個別指導をより多く取り入れることで、正しく演奏できるようにする。 |
| 社会 | | | 図工 | 楽しく図工に取り組める児童がいる一方、なかなかイメージがうかばなかったり、失敗を恐れて容易に創作活動に入れない児童がいる。 | ・児童の意欲や想像力を喚起するため、身近にある様々な材料を利用する。 ・使い慣れた道具であっても、多様な表現方法があることを指導する。それにより創造性を呼び起こす。 |
| 算数 | 自力解決を苦手とする児童がいる。 計算の仕方を今以上に確実に定着させる必要がある。 | ・問題解決の場面で、具体的操作や図を書く作業などを多く取り入れた授業をする。 ・計算の反復練習をする機会を、より多くつくる。 | 家庭 | | |
| 理科 | | | 体育 | 運動は好きだが、集団遊びなど友達と関わりながら遊ぶ経験が少ない子がいる。 | ・人と関わり、協力する体ほぐしの運動やゲーム学習を工夫していく。 ・休み時間の外遊びにつなげられるような手だてをとる。 |
| 生活 | 身の回りの人とのかかわり合い、ふれ合いの場面がやや少ない。 | ・グループで計画し、人にインタビューするなどの体験学習をより多く取り入れる。 ・実生活に密着した地域教材の開発を行う。 | 総合的な学習の時間 | | |

その他(道徳・特別活動等)

- ・朝のモジュール学習を通して、国語や算数の基礎基本を確実に習得する。
- ・授業時間だけでなく、日常、様々な場面を通じて、道徳的な指導等を行う。
- ・パソコンを授業で使用するにより、パソコンの作業の習熟化をはかる。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

| 教科等 | 現状と課題 | 改善策 | 教科等 | 現状と課題 | 改善策 |
|-----|---|--|-----------|---|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習の定着が難しい。 音読が苦手な児童がいる。 作文の際に話し言葉と書き言葉の乱れがあったり、助詞の使い方の誤りがある。 論理立てて話をするのが苦手な傾向がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字学習の方法と反復練習の徹底を図る。 授業、宿題以外の場でも、音読がすすんでたくさん行われる様に機会をたくさん設定する。 作文指導の際に、書き言葉の決まりについての話をする。 日常のスピーチなどでの場でも、順序だてて話すように指導する。 | 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> 発声の仕方、リコーダーの演奏技術等についていけない子が少数みられる。 | <ul style="list-style-type: none"> 苦手意識を持たせない様に基礎力を重点に置き、やさしい練習を中心に組みこませる。 個別指導、グループ指導等で技術力を補ってんする。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 興味関心、知識の個人差が大きい。 資料の活用が定着していない。 | <ul style="list-style-type: none"> 学区域や、地域をよりよく知るため、見学や体験の場をなるべく多く設けるようにし、興味関心を持って学び、自分と結びつけて考えるようにさせる。 資料の活用場面を授業の中で多く取り入れていく。 | 図工 | <ul style="list-style-type: none"> 楽しんで表現活動しているが、道具の安全な使用について、事前に使い方を示しても、危険な使い方をしている場合がある。 創作意欲は高いが、模写・空間把握の能力に個人差が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 安全に配慮しつつ、道具を使う機会を多く設ける。 作品が様々な場面で活用できるような指導計画を作成する。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> モジュールの時間にくり返しドリルなどを使って計算の反復練習をさせている。 基礎的な計算能力は身につけている。 文章題や、解き方の説明など考え方を問う問題では、つまづく児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 具体物操作や、図を描く作業など多く取り入れる。 発表を通して、友達と意見のやりとりをさせたり聞いたりして、自分の考えをまとめたり訂正したりする力を身につけさせる。 | 家庭 | | |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心、知識や観察・実験の視点などでは、生活体験の差が大きい。 原因と結果を関連づけて考えさせたり、わかりやすく表現する力を、身につけさせている。 | <ul style="list-style-type: none"> 自然界の具体的な事象に、さらに直接的に触れ合えるような場面を設定したり、学習環境を整えることで、興味・関心を深める。 視聴覚教材などの活用を通じて、予想したり見通しをもてる学習に取り組ませる。 | 体育 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツは得意であるが、遊びを通しての経験も少ないため、苦手意識がある児童がいる。 集団を意識しすばやく行動することが苦手な児童がいる。 運動をする子としない子の二極化が進んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ルールや道具を児童の実態にあうものにし、楽しみながら技術を上げていくような授業づくりをする。 準備から活動まで一連の流れを意識した展開にする。 どの子にも運動の楽しさを味わえる授業内容を考えていく。 |
| 生活 | | | 総合的な学習の時間 | <ul style="list-style-type: none"> 蚕を飼育することを通して、自分から進んで学習に取り組む姿勢や、生命を大切に思う心を育てる。 学習パートナーの定着化をはかる必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 蚕の残してくれたまゆを使って、体験を核にした学習をさらに深めていくことで、八王子という地域や農業にまで、視野を広げ、発表という形で、まとめられるよう導く。 高学年に向け、テーマ設定、調査、話し合い活動、まとめ方等、一連の学習の流れを身につけさせる。 |

その他（道徳・特別活動等）

- モジュール学習によって、短時間の中での課題設定と解決能力を身につけることができるようになり、児童に基礎基本の定着がはかられてきた。
- 個々の自発的な学習に結び付けたい。
- 日常生活の中で生じる様々な問題を、道徳的な価値を追究する視点から考えを深め、納得して実践できるように取り組む。
- 話し合い活動の場を多く設定していく。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

| 教科等 | 現状と課題 | 改善策 | 教科等 | 現状と課題 | 改善策 |
|-----|---|--|-----------|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> モジュールや家庭学習を利用して漢字や音読などの基礎学力の定着を目指した。 自分の考えをまとめて話したり書いたりする力をさらに伸ばすことが求められる。 | <ul style="list-style-type: none"> 話したい要点をまとめて書く時間を確保し、経験を積ませる。 お互いの発表を聞き合う中での学び合いを大切にしていく。 | 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> しっかりと活動に取り組む子が多い。しかし集団活動の中でついていけない子がいるのが課題。 | <ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組めるように選曲に気をつける。 歌唱においては2部合唱、器楽はいろいろな楽器を使って合奏に取り組みさせる。 集団の中でうまく活動できない子については個別指導をしていく。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 常に身近な生活との関連を意識させ学習に取り組みさせた。 学習内容の定着のため可能な限り体験学習を取り入れたが十分ではない。 | <ul style="list-style-type: none"> 視聴覚教材なども使用し、擬似的体験を増やす。 学習課題とまとめを関連づけて整理する時間を設定することで学習内容の定着を図る。 | 図工 | <ul style="list-style-type: none"> 図工は好きと言う子どもが多く楽しんで取り組んでいる。 刃物や工具類を使い慣れない児童多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な手指を使う多様な題材を設定する。 家庭では取り組む機会が少ないので、木工を中心に、刃物、工具に触れる機会を積極的に取り入れていく。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> TT教諭と連携して個別指導を展開している。 日常の学習の中で計算練習時間を確保して、全員に習熟させるよう取り組んでいる。 考える力を向上させる必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 考える力を伸ばすために、子どもたちの実状に合った課題を提示し、考えをまとめたり発表したりする学びの場をきちんと確保する。 | 家庭 | | |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 実験や観察を通して自然現象への興味関心を高めたり、理解を深めたりしている。 興味関心を寄せて取り組んでいるが、学習内容の定着率が悪い。 人数に見合った環境が整備できていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 実験、観察の際の課題の提示の仕方を工夫することで、現象の中にある法則性に気づかせる。 近隣の施設を利用したり、場の設定を工夫していく。 | 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 相互に教え合ったり、チームで協力し合ったりする展開を進めている。 体育館改修のため、基礎体力を高めるための日常的な運動課題の設定など一層の工夫が求められる。 | <ul style="list-style-type: none"> 運動量を増やすため児童の実態にあった運動内容を精選する。 規律正しく効率的な動きを身につけさせることで運動量を確保する。 |
| 生活 | | | 総合的な学習の時間 | <ul style="list-style-type: none"> 地域と環境を題材に課題を設定し、調べたり発表したりする学習を進めている。 調べるには、資料となる情報や人、施設、組織などの不足があり、体験するにも児童の人数により確保しづらい現状である。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分なりの課題をもち、様々な方策での学習が進められるよう配慮していく。 地域や他学年に伝えることを意識した発表の場を設けていく。 |

その他(道徳・特別活動等)

- モジュール学習の実施で、全員に漢字や、計算練習時間の確保を保證することができ、基礎学力の増進につながっている。
- TTによる個別指導によって、理解遅れ児童が減少傾向にある。
- 日常生活の中で生ずる生活上の問題を、道徳の視点から考えたり解決策を考えさせたりして、心の育成を図るよう指導している。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

| 教科等 | 現状と課題 | 改善策 | 教科等 | 現状と課題 | 改善策 |
|-----|---|--|-----------|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 音読がたどたどしい、読書の時間が十分に取れていない現状が見られる。 意欲的に聞いているが、内容を聞き取れていない面がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習カードを活用したり、毎日の授業や家庭学習などで音読、読書に取り組む時間を増やしたりする。 事実と感想、意見を区別し文章を書くと共に、書く機会を増やす。 日常から、相手の伝えたいことを聞き取る場面をつくる。 | 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> 楽しくて歌などの活動に取り組む子もいるが苦手意識を持っている子も数人いる。 グループ活動など協力する活動にうまく取り組めない面がある。 | <ul style="list-style-type: none"> リクエストコーナーを設け楽しく歌う機会を確保していく。 ねらいをはっきりさせ、個別指導やグループ活動に生かす場を設定していく。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 学習が、知識理解に偏ったものにならないように進めている。 消費者の一人として、問題点が何なのか実感したり、考えたりできる場面を設定できていない面がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 実体験や仮想体験、ディベートなどの活動を学習に取り入れる。 子ども達が、課題や問題点を明らかにして、学習したことを生活に生かせるように、指導法を工夫する。 | 図工 | <ul style="list-style-type: none"> 図工を楽しんで取り組んでいる児童が多い。 取り組む力、創造力、表現力に個人差がみられる。 | <ul style="list-style-type: none"> 伝統的な題材から、現代アートの前衛的題材、ICT機器を活用した題材など多様な題材を取り入れ、個に応じた創造力、表現力を伸ばしていく。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> モジュール等により、単純な計算能力は高い。 立式に及ぶ考え方を説明する力が不足している。 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども達に身近な出来事、題材を見付けて提示し、興味関心の喚起をうながす。 モジュールの時間を活用して、基本的な計算練習や、定規、コンパスなどの操作練習を続けて行っていく。 考えを説明するために、図や線分図等を用いて数を量的に捉える場面を多くつくる。 | 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭生活について考えることがあまりなく、関心が薄い。 家庭の仕事を実践した経験が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 実物や、段階教材を活用し、関心意欲を高める工夫をする。 制作カードや、計画表を活用し、楽しく能率良く学べるように工夫する。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 科学的用語を理解し、発表する力をつける必要がある。 科学的思考力を更につけさせる工夫が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 実験や観察を継続的にを行い、記録の積み重ねを図る。 何故どうしてという問題意識を常に持たせた学習展開を図る。 | 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 運動を好む子とそうでない子の二極化が見られる。 運動が好きな児童の中でも、好きな種目に偏りがある。 | <ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動に取り組ませる。 子ども達一人一人が達成感を得たり、周りの友達から認められたりする場面を多く設定して、意欲を高める。 |
| 生活 | | | 総合的な学習の時間 | <ul style="list-style-type: none"> 「たんぼの学校」を中心として、体験学習が充実している。しかし、事前事後の広げ方、深め方を工夫しないと、その場だけの学習になってしまう。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域、自然、成長の過程を学びながら、収穫する喜びを味わわせる。 里山クラブの方々のご苦勞を聞いたり調べたりして、学習に広がりを持たせ、学ぶ意欲や、自然の恵みに感謝する気持ちを育成する。 |

その他（道徳・特別活動等）

- ・子供達は、「～すべきだ」と頭で分かっているが、行動面では違った面が見られる。
- ・子供達が実践的行動力を身につけられるようにしていく必要がある。
- ・各学年と連携を図りながら、道徳で心を育てる題材を10本程度厳選し、「由木中央小の道徳の手引き」のようなものを作成したい。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

| 教科等 | 現状と課題 | 改善策 | 教科等 | 現状と課題 | 改善策 |
|-----|---|---|-----------|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・モジュール学習などの時間を使い、漢字を読む力、書く力がついてきている。 ・読書カード等の活用により、読書を好む子が増えている。 ・「聞くこと」では相手の意図をくみ取り聞くことが課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常から、相手の伝えたいことを聞き取る場面を作り、言葉で簡単に表現したり、文章にまとめたりする力を育てる。 | 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽など意欲的に練習に取り組む子が多い。 ・技術的に個人差が大きいので一斉志津野中でどうこの力をのばしていくかが課題。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱面では特に男子が変声期などでつまづく場面もあるので、自分の声探しなどお互いを認めていく場を大切にしていく。 ・楽器面では個人指導をこまめにし、お互いを認められる場の設定をしていく。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習事項と自分の生活の間にギャップがあり、生活に活かしきれない。 ・地理的基礎知識が不足している。 ・資料を活用する能力が十分とは言えない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学習をできる限り多く取り入れ、児童の主体的な学習を促し、自分の生活に生かせるようにしていく。 ・日常から子ども達の目の届くところに地図を貼るなど教室掲示を工夫する。 ・資料を見つけたら、比べたりする際に目的をはっきりさせる。 | 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ・図工の授業に楽しんで取り組んでいる児童が多い。 ・個人制作は、比較的よくやっているが個人差がある。 ・ねばり強く作品づくり取り組むことが苦手な児童もいる。 ・共同制作は苦手な傾向にある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・完成度が高い題材を設定し、意欲的に取り組ませる。 ・制作過程で、自然に友だちとコミュニケーションし協力し合い、互いに学びあえるような題材を設定していく。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・モジュール等により、単純な計算能力は高い。 ・立式に及ぶ考え方を説明する力が不足している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を利用して問題解決できるような問題提示の工夫をしていく。 ・図や線分図等を用いて、数や量的に捉え、考えを説明する場面を多く作る。 | 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活について考えることがあまりなく、関心が薄い。 ・家庭の仕事を実践した経験が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活について家族と考える機会を設定し、役割を受け持つことで、意欲の向上を図る。 ・制作カードや、計画表を活用し、楽しく効率的に学べるように工夫する。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・実験や、観察の結果の処理まで、一連の過程を意識した活動となっていない傾向が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題の把握、予想、解決方法の計画までの段階を話し合いやノート記述によって常にふりかえるようにする。 ・過程を重視した問題解決の流れと、論理的な表現力を学ばせる。 | 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における運動量が不足している。休み時間などの友達同士の誘い合いも広がらない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動に取り組ませる。 ・子ども達一人一人が達成感を得たり、周りの友達から認められたりする場面を多く設定して、意欲を高める。 |
| 生活 | | | 総合的な学習の時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会科学習の発展型として、学習を進めることができた。 ・「自ら考える」ことより、「言われたとおりに進める」活動になっている場合が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の学習の必然性を持たせられるような、課題の精選、導入の工夫をする。 |

その他(道徳・特別活動等)

- ・子ども達は、「～すべきた」と頭で分かっているも、行動面では違った面が見られる。
- ・子ども達が実践的行動力を身につけられるようにしていく必要がある。